第33回高知県地場産業大賞

▲高知県地場産業大賞表彰式。香美市からは、下記に紹介する２団体が受賞されました。

土佐山田町栄町にある合同会社高知カンパーニュブルワリーは、高知県で収穫された原料（文旦、ゆず、山椒、米、りんごなど）を使ったクラフトビール『TOSACO』で、**高知県地場産業奨励賞**を受賞しました。

商品名の『TOSACO』は、土佐っ子からネーミングしています。高知県の素材の良さを存分に引き立てたこの商品は、大手のビールと比較しても、香り、風味、味の全ての面において遜色ない、華やかで深い味わいとなっています。

地域で連携した県内唯一の商品であること、コンセプトや販売戦略が明確であり、コラボレーション商品を含めた今後の県内外での展開への期待が評価されました。

L'OCZHIT（ロクジット）

土佐山田町中組にある有限会社宮村鉄工は、現実の空間に、コンピュータ映像が重なって表示されるMR（Mixed　Reality＝複合現実）技術を使い、図面が読めない人でもIoTゴーグルで表示された完成形を見ながら組み立て・検査ができる作業支援システム『L'OCZHIT』を開発し、**高知県地場産業賞**を受賞しました。

平成２８年、NTTドコモが社外パートナーと新規事業を創出する取り組みを進める中でのマッチングが実現し、製品開発に至ったものです。

今回は、最新のMR技術と溶接の加工支援を結び付けるシステムとして、世の中に類似製品がない、画期的な取り組みである点（革新性）が高く評価されました。また、同社が属する鉄工業界の、若者が定着しない、慢性的人手不足等、働き方改革の視点からの課題解決が、大きく期待できる点も高く評価されました。

▲ゴーグル着用前　▲ゴーグル着用後

第７回 体育文化奨励賞

２月２４日、香美市役所で第７回香美市体育文化奨励賞表彰式が開催されました。

この賞は、体育や文化の振興を図るために制定されており、今回は、スポーツで功績のあった１名と４団体に贈られました。

山田直輝選手（高知工科大学）＝昨年６月３０日から７月１日に香川県高松市で開催された、四国地区大学総合体育大会において、男子走幅跳と男子三段跳の２種目で優勝し、二冠を達成されました。

高知工科大学硬式野球部＝昨年の四国六大学野球リーグ（一部）秋季リーグで優勝されました。

高知工科大学ソフトボール部＝昨年１０月に香川県坂出市で開催された、平成３０年度四国地区大学ソフトボール秋季大会で優勝されました。

高知工科大学水泳部＝昨年６月３０日から７月１日に香川県高松市で開催された、四国地区大学総合体育大会において、水泳競技の８００mフリーリレーで優勝されました。

▲前列左から高知工科大学硬式野球部湯浅監督（陸上山田選手の代理）・硬式野球部の岡本選手・水泳部の菰田選手。３名おいて、山田養護学校田中校長・高知工科大学ソフトボール部の中西選手
後列左から高知工科大学硬式野球部の選手（２名）・水泳部の選手（４名）・ソフトボール部の選手（３名）及び監督

山田養護学校バレーボール部＝昨年１０月に福井県で開催された、第１８回全国障害者スポーツ大会『福井しあわせ元気大会』において、高知県代表として出場し、女子のバレーボール競技知的障害者の部で第３位に入賞されました。

高知県交通安全推進県民会議 交通安全功労者等表彰

２月１２日、共済会館で**高知県交通安全推進県民会議交通安全功労者等表彰式**が開かれ、門田稔さんと、香美地区地域安全推進協議会香北支部が表彰を受けました。

これは、地域社会における交通安全思想の普及や確保に貢献した団体や個人を表彰するものです。

門田さんは、平成１２年に交通安全協会山田支部（現在の香美支部）役員に就任以降、支部の交通安全行事に積極的に取り組み、平成１７年からは、春の全国交通安全運動期間中、横断歩道の渡り方や信号機の見方などの交通ルールを児童に教えています。

香美地区地域安全推進協議会香北支部は、『地域の安全は地域で守る』という信念のもと、さまざまな活動を熱心に行い、地域の交通安全のために尽力されています。

▲左から門田稔さん・松村純爾さん（香美地区地域安全推進協議会香北支部長）

香美市スポーツ少年団連絡協議会表彰

２月９日、**香美市スポーツ少年団連絡協議会**から、山田少年剣道教室の岩城光佑さんが優秀賞の表彰を受けました。

この表彰は、県大会等で優勝するなど優秀な成績や記録を収めたスポーツ少年団の個人等に贈られるものです。

受賞された岩城さんの今後のますますのご活躍をお祈りします。